

三輪幼稚園 意見交換会

日 時	R7.12.15	R8.1.20	R8.6.26	R8.6.29
参加者	学校評議員 2名 保護者 2 名	保護者 15名	地域 9名 (うち県・市議会議員 3 名)	地域 17名 (うち市議会議員 2 名)

	意見の内容	市の考え方
小学校・地域との連携	・公立でも認定こども園化はできる。公立だからこそできることがある。 ・三輪幼稚園は小学校との連携を長年進めているが、民間になると連携が無くなってしまわないか不安である。 ・三輪幼稚園のこれまでの取り組みをどのように継承していくのか、支援が必要なこどもの受け入れやインクルーシブ教育をどのように進めるのか、民営化すれば三輪に住んでいる支援の必要なお子さんは、必ず全員認定こども園に入れるのか。 ・地域でこどもたちが一緒に育ち、小学校へあがれるのか。 ・地域あつての三輪幼稚園である。センター的役割を担っている三輪幼稚園をぜひ残していただきたい。 ・公立として市と地域のかかわりの歴史があり、公立の方が地域との関係性が良いのではないか。 ・公立幼稚園は幼稚園教育要領に則ってしっかりこどもを育てている。保護者とかかわりも大切にしており、この地域の中でこどもを育てたいと思っている保護者の思いを大切にしたい。 ・公立主体で八景中校区の連携が進みモデルケースにできる地域なので、市が公立認定こども園で子育てしやすいまちづくりを進め、三輪幼稚園が選ばれることで市全体に広げていける	・公立のこれまでの取り組みは、公立でないと取り組めない内容なのか、民間では不可能なのかも検討していきたい。 ・ニュータウンの就学前施設はすべて民間であるが、幼小の連携は民間園でも実施されている実績がある。また、民間の力を借りる場合には、三輪幼稚園の取り組み継続などの条件付きで募集していきたい。 ・条例で支援を要するお子さんの受入義務を定めている。ただ、必要な受け入れ体制や設備投資ができない場合は他の園を紹介することもある。インクルーシブについても、地域・小学校との連携ができている民間園もある。 ・この地域に施設を存続させ、地域の子が集まり小学校にあがれる環境を整備するために認定こども園化を考え、存続させる方法として民間を検討したいという考えである。 ・民間も同様の取り組みをいただいていると認識している。条例においても、地域との連携に努めるルールを定めており、民間の力を借りる場合には、三輪幼稚園の取り組み継続などの条件付きで募集していきたい。
時期	・民間の認定こども園になる場合、現幼稚園の受け入れを止めるのか ・募集停止で下の子が入ってこないという状況はあり得るか	・どこかの時点で(園児の所属が)三輪幼稚園から民間園に変わる可能性があるが、入園を途中で差し止めることは考えていない

民 営 化	・公立の認定こども園の可能性がどのくらいあるのか。 ・公立で取り組み、結果、公立ではダメな理由が明確になり民間が歩み寄ってくれるなら納得いくのではないかな。 ・民営化で良い事業者が選ばれたとしても、事業者が変わる懸念もある。	・民営化が決まっているというわけではなく、一つの手段として意見を聞いている。認定こども園化を望む人の思いも聞きたい。民間でもいいから早く進めてほしいという人がどれくらいいるかなども聞いていきたい。
進 め 方	・R4 再編計画で三輪幼稚園の存続方針を出してから、存続に向けてどのような取り組みを行ってきたのか。 ・これまでの再編計画では何年もかけて丁寧な説明と意見聴取をされていた。今後のスケジュール感を聞きたい。 ・令和7年9月のロードマップは、総合教育会議を経由せずに発表されている。今後、総合教育会議で議論される予定はあるのか教育委員会定例会でも今日の意見を伝えていただけるのか ・9月にはあり方の方針を提示すると言われたが、早めに提示してほしい。3年後に民間へ移行は難しいと思われるが、その方向性についても伝えてほしい。 ・答えありきの説明ではなく、信頼関係を積み重ねていただきたい。ロードマップのスケジュールではなく、地域と一緒に三輪幼稚園を考えていく形で進めてほしい。 ・公立での可能性も探りながら、民間にどんな条件をつけていくのかなど、細かく意見交流を積み重ねてほしい。 ・幼稚園再編計画に基づくことが大事である。運び方が乱暴な印象である。 ・意見交換の場が少なく、不安にならないようお願いしたい	・存続の取り組みとして、預かり保育の充実を進めてきたが、長期休業中の預かりは不十分だった。 ・ロードマップでは最短のスケジュールを示している。こどもの適正な集団規模と環境整備、保護者の保育ニーズへの対応を含め、意見をいただき議論する中でスケジュールが変わることはあると考えている。 ・総合教育会議は、市長主催でまちづくりの教育部分について話し合う会議でもあり、前回の幼稚園再編の際も議論してきた。今回も同様に考えている。教育委員会へも伝える。 ・集団規模の確保は一日でも早く整えたい。とりあえずは最短時期を示しているが、あくまでも検討結果に基づいて取り組みを進めるものである。 ・今日がスタートだと思っている。一方的に進めるつもりはない。皆さんから意見をいただき、皆さんが納得の上で進めていきたいと考えている。 ・これから意見交換会を続け、内容を見える化していく。仮に民間に公募する場合のイメージとして、市が公募し選定委員会を設け、地域との交流・小学校との連携・特別支援教育についてどう考えているか等、選定基準項目を定めていこうと考える。三輪幼稚園の良さや伝統が引き継がれるような努力はしていきたい。 ・誰が見ても分かるものが周知されていないとの指摘と受け止める。総合教育会議の場において、次に進むべき道が見える形で話をしていく必要がある。 ・関係する方への情報が届きにくかったかもしれない。丁寧に話し合いをしていく。

その他の意見	【認定こども園の形態について】 ・公立の認定こども園化となった場合は幼稚園型で3・4・5歳が対象の施設ということか。 ・三輪幼稚園での預かり保育時間を延ばすことは可能か。	・0～2歳の小規模保育施設のお子さんが3歳からの預け先を探さなくてはならないため、連携園となる3～5歳の認定こども園化が必要である。 ・長期休業中の預かりも含め、職員確保が課題となっている。
	【園児数に関すること】 ・地域のこどもの人数は決まっているのに、認定こども園化でなぜ増えると思込めるのか、統合でないのであれば、増えるという実感がない。 ・園児数の減少は就労形態だけが原因なく、英語教育等の習い事の魅力で私立認定こども園を選んでいる保護者もいる。 ・就労形態や駅前開発でどの程度子育て世帯の増加が見込まれるのか情報共有してほしい	・三輪地域には0～2歳児の小規模保育施設が2園あり、その受け皿としての認定こども園となるため、園児数は増えると思込んでいる。 ・その点を重視される保護者がいることは認識しているが、公立は教育要領に則って保育をしている。民間園では幅広いことができると思うが、メリット・デメリットもある。 ・約540戸の販売と聞いているが、マンションも高騰しており、子育て世帯がどのくらい見込まれるか把握できないが数字で示せるようにしたい
	【施設・駐車場について】 ・三輪幼稚園の改修費用はいくらぐらいか。 ・現状のままで建物は維持できるのか。 ・検討期間中に改修してもらえるのか。 ・園庭の一部を活用して来園者用の駐車場を広げられないか。 ・お金のことを切り離して、こどもたちを第一に考えていきたい。施設を修繕してから民間に渡す方法もある。 ・三輪幼稚園には駐車場がない。幼稚園創立から地域の協力や提供があったのなら、民間では引き継げないのではないか。駐車場問題が解決できるのか心配する。	・現在は改修工事の予定を止めているが、R7の三田幼稚園の改修費用が約3億円で、R8の2期工事として数千万円かかると思込んでいる。 ・約50年経過しているが、これまでに耐震改修は行っており、運営上は問題ない。 ・大規模な改修の予定はないが、必要に応じてその都度改修していく。 ・幼稚園奥の園庭(民家側)、園舎前の園庭については、国道からの接道が悪く、(スペースや安全面で)問題が多い。